

【一宮町長賞】 ^{すずき}鈴木 ^{なおと}直人

初恋のあなたへ

鈴木 直人

あれから28年もの時が経ってしまいました。

あなたはきっと、素敵な女性になっているのでしょうね。

覚えているだろうか、僕が学校にキリギリスを持っていった時の事。

女子は皆虫嫌いなのか、「キヤー」と近寄ってすら来なかった。

でも君は、僕の横に座り、「かわいいね」とキリギリスを褒めてくれたね。

「あげるよ」と声をかけると立ち上がって

「ありがとう。大切にするね」と無邪気に喜んでくれたね。

君は気付いてないだろうけど、給食の時間、君の近くで食べたくなって、わざと君の近くに机をずらしたんだ。

僕は君の近くに居られるだけで、幸せだったんだよ。

運動会のリレーの時、君が1走者、僕は8走者だったね。

君が走る姿を、僕はかたずを飲んで見守っていたんだよ。

衝撃だったのはそう、教室の雑巾がけを君と並んでやっていた時の事。

君は僕に直球を投げってくれたんだ。

「私、ナオト君のことが好き。」

嬉しかった……。でも恥ずかしくて、はぐらかしてしまった。

翌年のクラス替えで、君とは違うクラスになり、それからはすれ違っても、声をかけ合わなくなってしまったね。

私は今、心の病を患い失業中ですが、あなたへこの手紙を書きました。

あなたのこれからの幸せを、心からお祈りしています。

